

# 「Choju」だより

株式会社エス・日&エ  
代表取締役社長 津田 博通



## 【耳が遠い母と世話をする娘さんの確執】

「Choju」は、2016年11月の販売開始以来、様々なお客様のご意見や困っている問題を解決すべく対応して参りました。今回は、耳が遠くなったお母さんと世話をする娘さんの確執のお話です。

### (家族同士のトラブルのお話)

両親が高齢者になると、耳が遠くなります。その結果初めに TV の音量で家族がもめます。次第にエスカレートすると、ちょっとしたことでも言い合いになります。

男の親子は、あまりもめたところを見たことはありませんが、お母さんと娘さんのトラブルはものすごいです。娘さんは、親を世話するため家事一切を賄っていますので、大変です。「ご飯だよ」、「お風呂だよ」と毎日大声で叫んでいます。この大声が母親からすると「怒鳴っている」ように感じるそうです。なぜか、お母さんと娘さんは次第にエスカレートして、言い合いを始めます。

### (トラブル1)

お母さんの聴こえが悪い方の娘さんが、展示会で「CHOJU」と出会いました。営業マンが自宅にサンプルを持ち込み試聴してもらいましたが、このお母さんは、デザインが気に入らず購入しませんでした。娘さんが何度も進めたところ、ついに頭に血が上り、娘さんのほほに平手打ちをしてしまいました。お母さんのプライドと娘さんの改善したい気持ちが、ずれてしまい思い通りにいきません。

### (トラブル2)

私が相模大野の喫茶店で、お客さんに「CHOJU」を説明しているとき、向かいの席で聴き耳を立てている奥さんがいました。打ち合わせが終わったら、声を掛けられ「CHOJU」の説明をしました。数日後、お母さんを同行して来社しました。すぐ試聴して、お母さんは聴こえが戻りました。ところが娘さんが、いつもの癖で口を手で覆い大声で話しました。すでに聴こえが戻った母親の耳に大声で話しかけたので、母親がびっくりしてしまいました。このため、またもお母さんと娘さんが、大声でやりあいました。この娘さんは、母親が「CHOJU」を使用して聴こえる様になっても、静かな声で話しかけることが出来ません。長い間の習慣で、つい大声を出してしまいます。せっかく聴こえが戻ったので、穏やかに話してもらおうと、母娘の関係も良くなるはずですが、人間関係は、簡単ではありません。

### (トラブル3)

現在まだこの母娘にはお会いしていませんが、息子さんからのお話です。この母娘と親父さんの3人で、田舎で生活しています。お姉さんがお二人の面倒を見ていますが、お父さんは娘さんの言うことは理解できているそうです。お母さんは補聴器を使用しても、ほとんど聴こえていないため、現在、娘さんと口も利かないほどに険悪な状態だそうです。お母さんと買い物に行くと、お母さんは娘さんにいつも世話になっているので気を使って、何か好きなものを買ってあげようとして「これ買う」と言います。すると娘さんは「いらないよ」というそうです。しかしお母さんは、なんとか買ってあげようとして、「これ買う」と何度も言うので、ついに娘さんが頭に血が上り大声で怒るそうです。このことが、毎日の生活で繰り返されて、ついに口を利かない母娘になっています。コロナが終わったら、訪問して何とか「CHOJU」で聴こえる様にしたいと思います。

以上